

記者発表資料  
配布日

平成25年11月19日

- 同時発表先：中国地方建設記者クラブ  
合同庁舎記者クラブ  
広島県政記者クラブ  
広島市政記者クラブ

## 天満川の河岸緑地箇所を高潮対策事業を始めます

国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所においては、高潮対策事業による堤防整備を実施しているところです。

また、太田川河川事務所で開催した堤防は広島市において、適宜、河岸緑地として整備しています。

この度の工事区間は先行的に河岸緑地として整備され、市民に利用されていますが、工事に伴い一時的に河岸緑地が利用できなくなることや、やむを得ず樹木を伐採する必要があることから、事前にお知らせするものです。

工事の実施内容は、下記のとおりです。

工事期間中はご迷惑をお掛けしますが、高潮に対する地域の安全・安心を守るための工事であり、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 記

工事箇所：天満川 観船橋～緑大橋 右岸(広島市西区東観音町)

工事期間：平成25年10月(11月下旬着手予定)

～平成28年度を予定(河岸緑地の再整備期間は除く)

### 工事の主な内容

- 太田川河川事務所による堤防工事

工事は、平成25年度から4カ年で段階的な工事を予定

広島市による河岸緑地の再整備は堤防工事の進捗に併せ実施

以上

### <問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所

副所長(改修) 湯 浅 丈 司 ( ゆ あ さ じょうじ )

工務第一課長 兼 原 勝 英 ( かねはら かつひで )

082-221-2436 (代表)

河岸緑地再整備に関することは

広島市 西区役所 地域整備課

地域整備課長 菅 原 裕 ( すがはら ひろし )

082-532-0951

< 参考 >

## ■ 太田川の高潮対策事業について

### ○ 過去の高潮被害

広島市は太田川の下流デルタ域に発達した大都市であり、市街地の主要部は干潟の開拓及び埋め立てによって拡大してきました。このため、地盤が低く、広島市の市街地は高潮被害を受けやすいゼロメートル地帯となっています。

昭和期には、昭和 17 年 8 月周防灘台風その他、昭和 26 年 10 月のルース台風、昭和 29 年 9 月の洞爺丸台風と相次いで高潮災害に見舞われ、市内は甚大な被害を受けました。平成に入ってから、平成 3 年 9 月の台風 19 号による高潮被害その他、平成 11 年 9 月の台風 18 号、平成 16 年 8 月の台風 16 号と 9 月の台風 18 号により高潮被害が発生しました。



平成16年の高潮状況  
(広島市南区出島付近)



平成16年の高潮状況  
(広島市西区観音付近)



平成16年の高潮状況  
(広島市西区東観音付近：今回の工事実施区間)



### ○ 高潮対策事業の沿革

高潮対策事業は、昭和 34 年の伊勢湾台風災害を契機とし、全国的に高潮対策の緊急性が認識されたことから始まりました。

太田川においても下流デルタ域における高潮対策の重要性が指摘されたことから、昭和 44 年に「広島湾高潮対策全体計画」を策定しました。

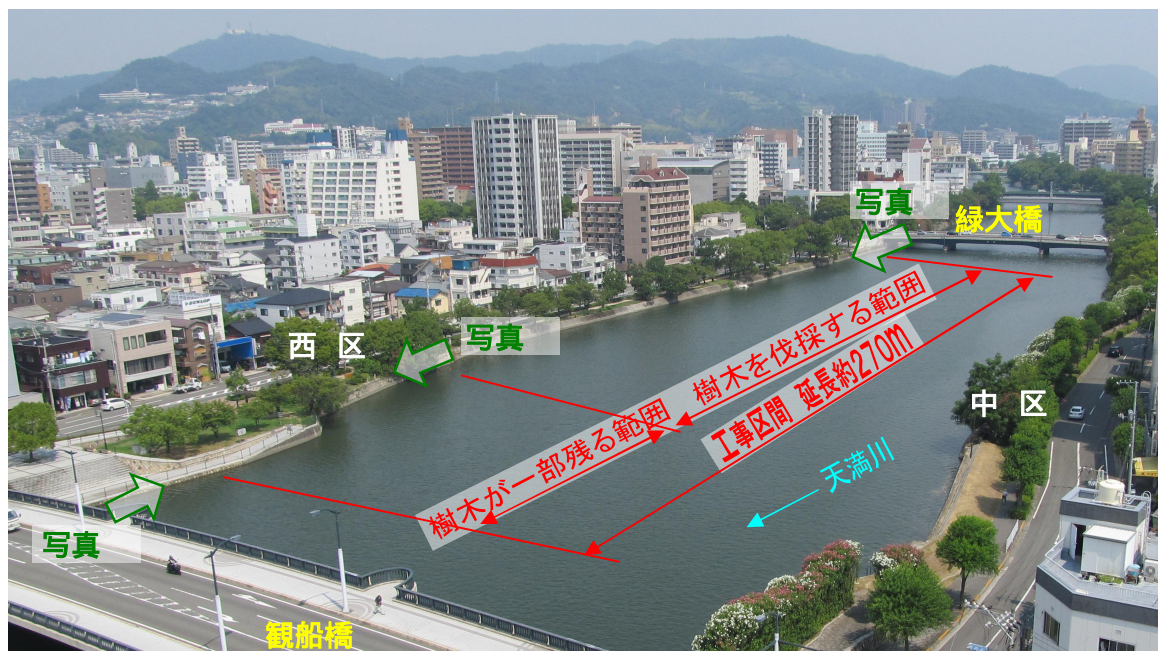
この計画では、ルース台風のコースを伊勢湾台風規模の台風が通過した場合を想定し、天文潮位及び台風による偏差を考慮して、計画高潮位を T.P.+4.40m としました。

以後、この計画に基づき高潮堤防を段階的に整備してきました。しかし、平成 3 年、11 年、16 年と度重なる高潮による被害が発生したため、現在、これらの再度災害防止を目的とした堤防高 T.P.+3.4m までの整備を重点的に実施しています。

## ■ 実施箇所

### ○ 現在の状況

今回、高潮対策工事を実施する箇所は以下のとおりです。



(写真) 観船橋付近より上流を望む



(写真) 観船橋より上流の状況



(写真) 緑大橋より下流の状況

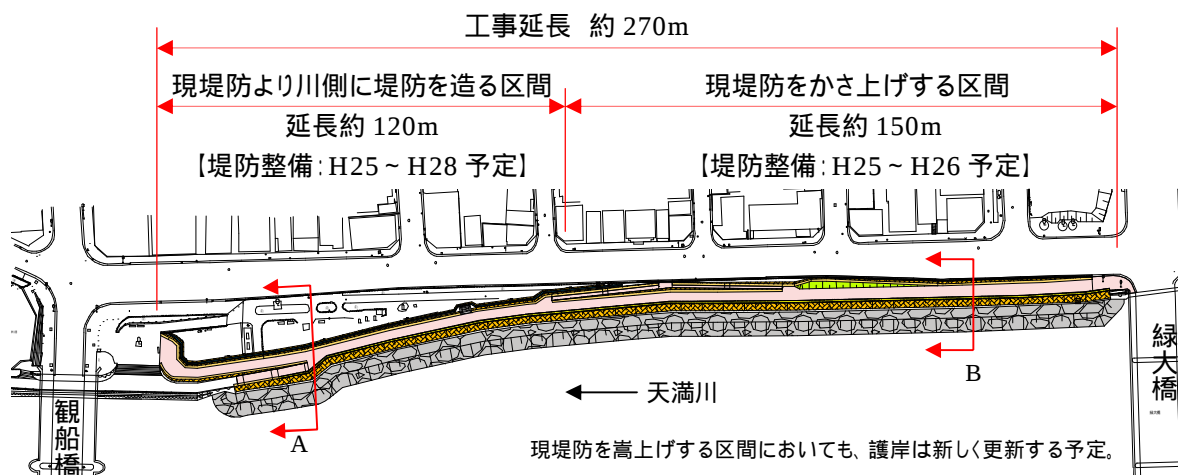


(写真) 堤防高不足により土のう設置

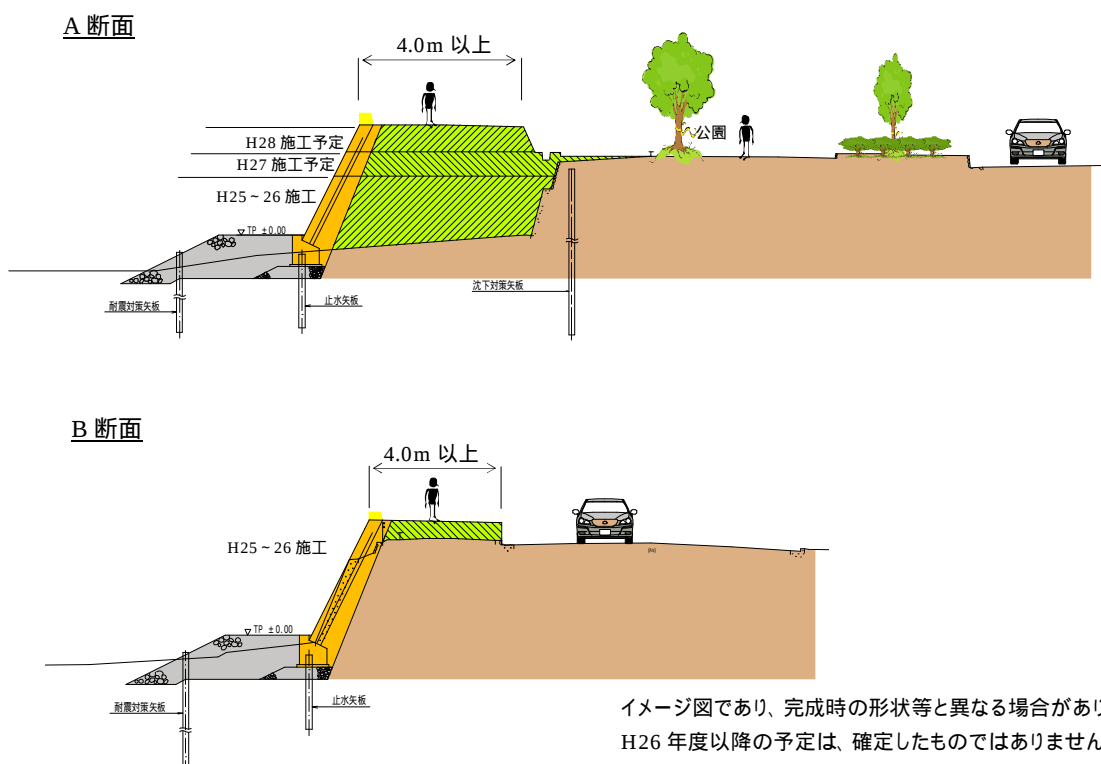
## ○高潮堤防の計画

当該区間の高潮堤防の計画は下図のとおりです。河岸緑地再整備の計画は、現在広島市で検討中であり下図には示しておりません。

なお、現地の状況により計画の見直しが生じる場合があります。



(図) 計画平面イメージ図



(図) 計画横断イメージ図